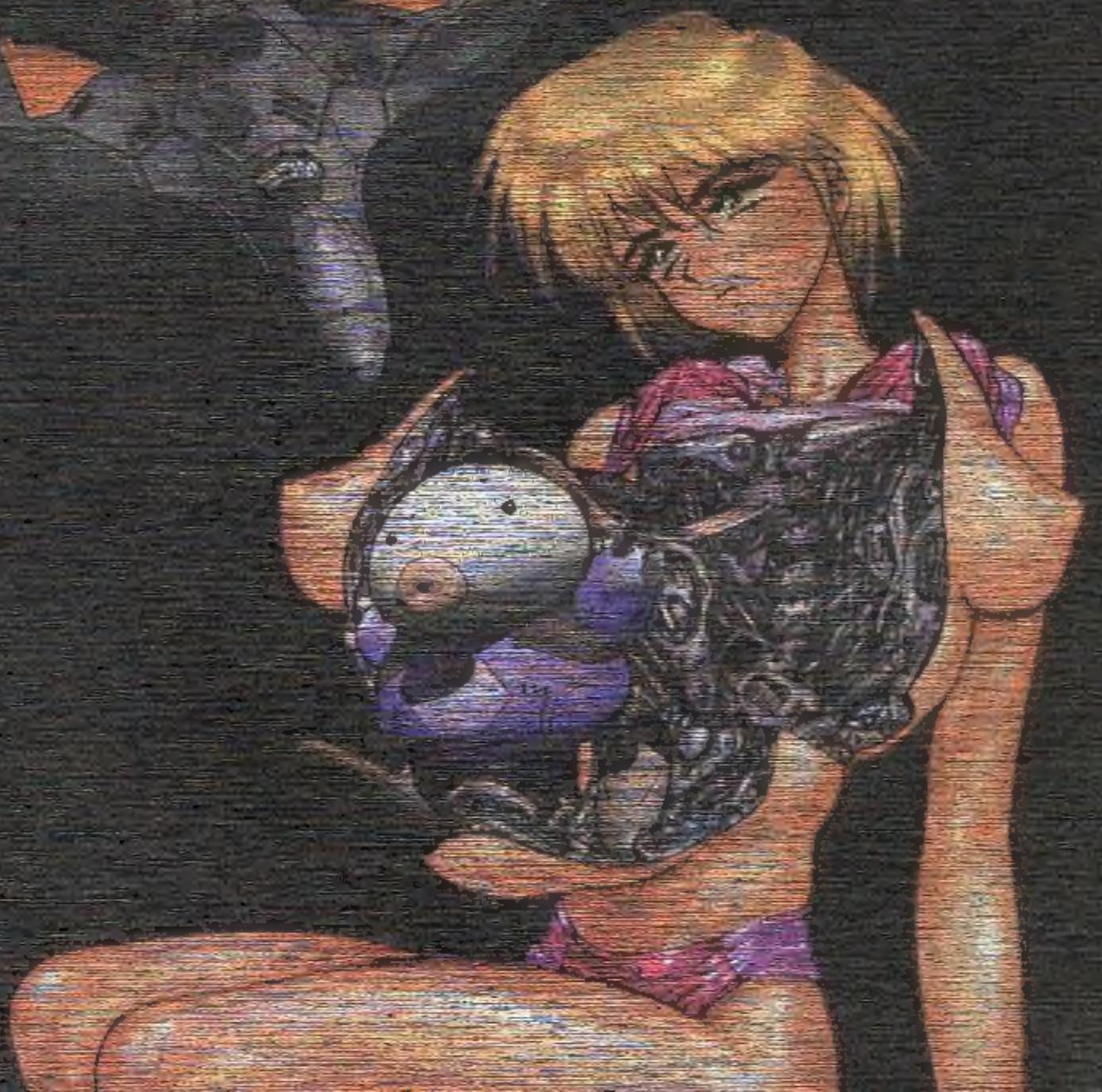


KOUFAKU KEGUTAI 2  
MANMACHINE INTERFACE  
created by MASAMUNE SHIROW  
SPECIAL PAMPHLET

This pamphlet is reprinted in  
"BOOK in BOOK" appeared in  
YOUNG MAGAZINE 1992.12.6 NO.1

# MANMACHINE INTERFACE

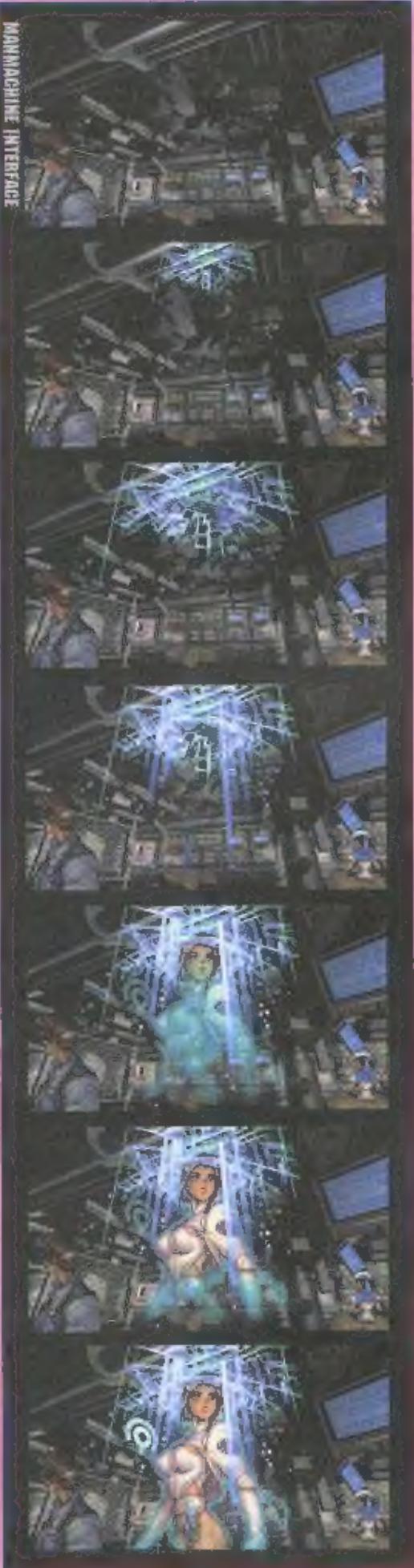


# COMMENT IN 1999.12.07

多謝御言は一度して「不思議」を大嘆息う。机上ワーク1号車両になつてから才と無でう話である。またカラーページが集冊に手と、回数がエニーカだ。見るに妙にエッヂな指が目に付くが、競技走り外に分離して手と目(ハガ)。カラーページした貴重のメリットは、「世人の目に見え得れぬ世界の目(目)には見え得る」(写真)を描き色れても、手わざわからぬ「キャラクチャ」になら写真として残すする事だ。モックロでも不思議ではないがあまりスモールにはれどか兵。また、慣れてたずねているものや手書きのその等モノノタロでは表現し難い要素も自由に見える。情け堪れぬ。(スクリーンドーンの要ね虎りで印刷トラブルの業を増せず貴重!)自然に船にできた。機器の使用できるメカやギアもアンスラシトのいなり花束環境では育り難い。今回はまた新規進化のそれほどメリットは無いが、どんな作品にも登場する共通の道具具や交通工具はストックが増えれば増え越える程、ぶり作風独自の要素に迷力を添えて来る。最初キャラも3Dで作ったが、元々テキストは毎晩就寝室の窓モニタではなり土に口ハガをあまり黒い島。タマヤの懐かしい変遷の出来事通りの2Dで止めた(とか僕そろに違う他の品質じやないけどね)。デジタルならでは咲季あり以上もあつた。一度16キガ基吹き飛んでいった裏があつた。ウイルスではなく、同じ映画取扱したHD(ハードディスク)が次々と音楽で充電して飛ばしていったのだ。幸運として気附じそれをディスクたつたのでそこにあつたデータがかなりの部分でやられた。一つのファイルが大きさハガでかい土に(就寝キャラを使用した状態でRGB350dpi原稿1ページ平均200メガ、久々一回で300メガオーバー)複数連続に飛って爆発に上書きする必要がありので断片化をすることながらハガード的な遺憾も早いのだ。オオトショウフ(お放題そくに育っているワットの音響)はメモリよりHDを奪取する傾向がある様だし、現実はディスクアレイアレイ(複数HDを各自並列して使用)と夜景専用HDと一般家庭専用HDのアレイでリスク管理をしている。「映画2」でトータル52キガ分のHDが喪失した。折とへこに極めてかなりの複数映像手持子(アシスト今ましまでは良いが...)。そんなこんなで世上がうたぶなのでマシガとしての貢献は「まあなんとか今日な一日とりう出来たが、それなりに気に入っている」「これでどうだオリヤー!」と思える程の完成度が暮れの日は非常だが、その外豪華アドバイザルホックまで良上位されてまるでスイートなので喜んでどうも飛行機はアライテムホックの者を乗組とれくらい音質を聞くかまま更たが、夕刊の日本河豚の頭部表アリ行進を歌う歌を歌う歌である。今回新規の表題で落胆された者の方のシャンソンを歌を歌して自己パーションを次ぐるヲタクなのだが、そのせいで手柄も落胆もあり表と商品展開ではないが、それもモチベーションで(?)どうか音楽本をりではまだその時、未だほどの表題で会はれよう。



# COMMENT IN 1999.11.01



やシゲマガジン読者の皆さん、お待して御座り下さい(てほうお読み  
発しての方々やむかねトホホ)。多忙ながらスケジュールを  
空ますか(すみませんの御説…), さておちましまと進んでます。  
「今まで愚鈍された分を補めるだけですか?」と早速出せるんじ  
帶びの?とお題の方もおられみてしまうが、内閣官邸未  
けられたため8.0ページ解説で、歩き9.0に開ける時と大  
きに開ける話を歩きの省に分ける事にしたので、半外見上部を  
あらむとなり時間がかかるつて事です。今回『歩き2』とし  
て歩きしているのは素子に開ける段の事です。9.0に開ける話  
の方は今度『歩き1』として補める予定です。そっちはアシスト  
本、申し訳ありませんがまたもうちょっとお待ち下さい。9.  
0が出てこなむのタイトルが「歩き新規」なのはハシです  
か物語を優先でそうしました。ついでにさってしまうとあれ  
か1.0のタイトルは「MAN MACHINE INTERFACE」で  
歩き1.0のタイトルは「MANAGHINE INTERFACE」  
歩き1.0でや(『歩き』の方が映像でしょ)。とは「歩き新規」  
歩きしようかとか考えましたか踏脚ややせしきのは避けて  
歩き新規に進むきました(『歩き2』の書き下ろし部分は全  
部フルカラーで、『歩き1』より算用がつくりになつてます。上  
歩き下歩きにリズムより音楽されていくかゆめて音がれもし  
れそれなりに音楽も伸びたたけるものと思ひます。もうおまづ  
く上下歩き換めて二歩きがある方がいいといふ方もあり希を  
お待ち下さい。「原流走ってどうする」とかおれたりおしまが、  
伏つかく講談社から頂いた手写シスなのでそれを冒頭させで現  
れるもりです。僕自身、音アカガラつけてるのを見るとフリフ  
リ2階に登って階段でじまう歩かが壁際なので今日も歩き新  
規とはおりながら、音楽がボックスを出ての歩きとなりました。  
少し時間がありて、正面と同じサイズ＆表アの「スクランブル  
歩きショウ(とてもさつでやく)」を出して頂ける機会にて(お  
歩き道はイマイチ放す)という方はそちらを歩きになつて  
下さい。ボックスも、入っている内蔵物から放すなどかなり  
お貴い音なので(機器的にはフチコマフィキュアがメインかな)、  
歩きと元の半側中より良い品になつてゐると思ひます。お高  
めに投げて帰る歩きもアーティストかもしませんが…。CGに限  
れば、自己アートでは通りますか持舊幸へき音楽要素、ほか  
の「音音踏の~」とか、ありませんので押す歌を、そもそもそれ  
に重ねた歌が出て来るとは思つてます。音楽早く  
までもう少し時間かかるかもしれません、放すまで並んでおりますので  
お譲り下さい。

七  
月  
一  
日





マサムネ シロウ

MASAMUNE SHIRAOI

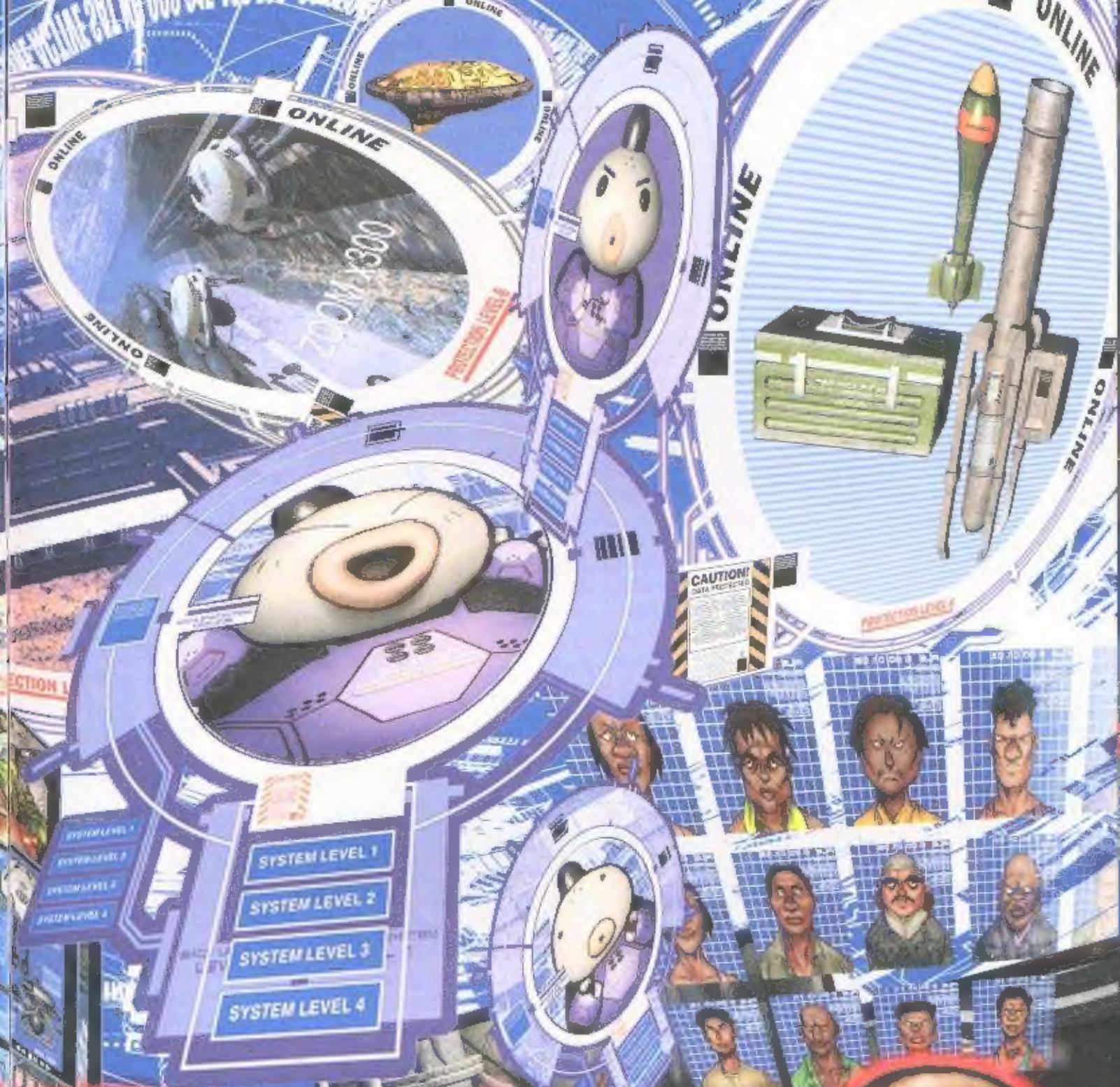
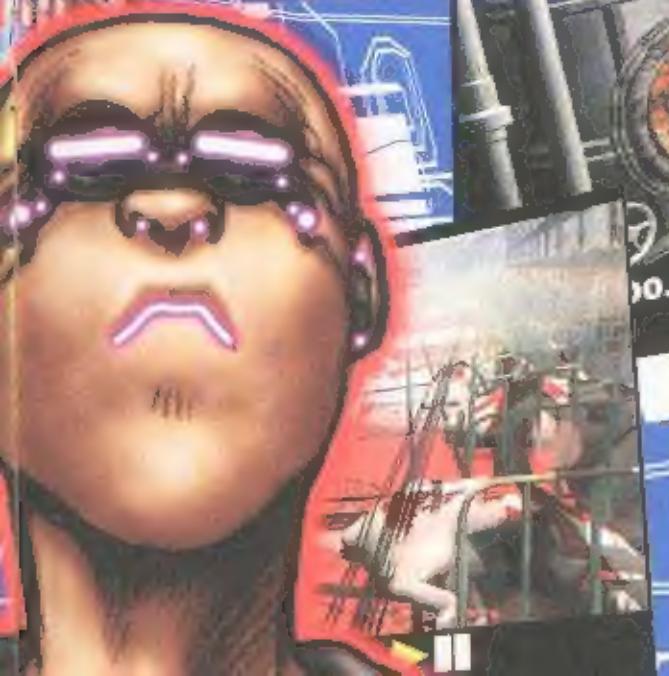
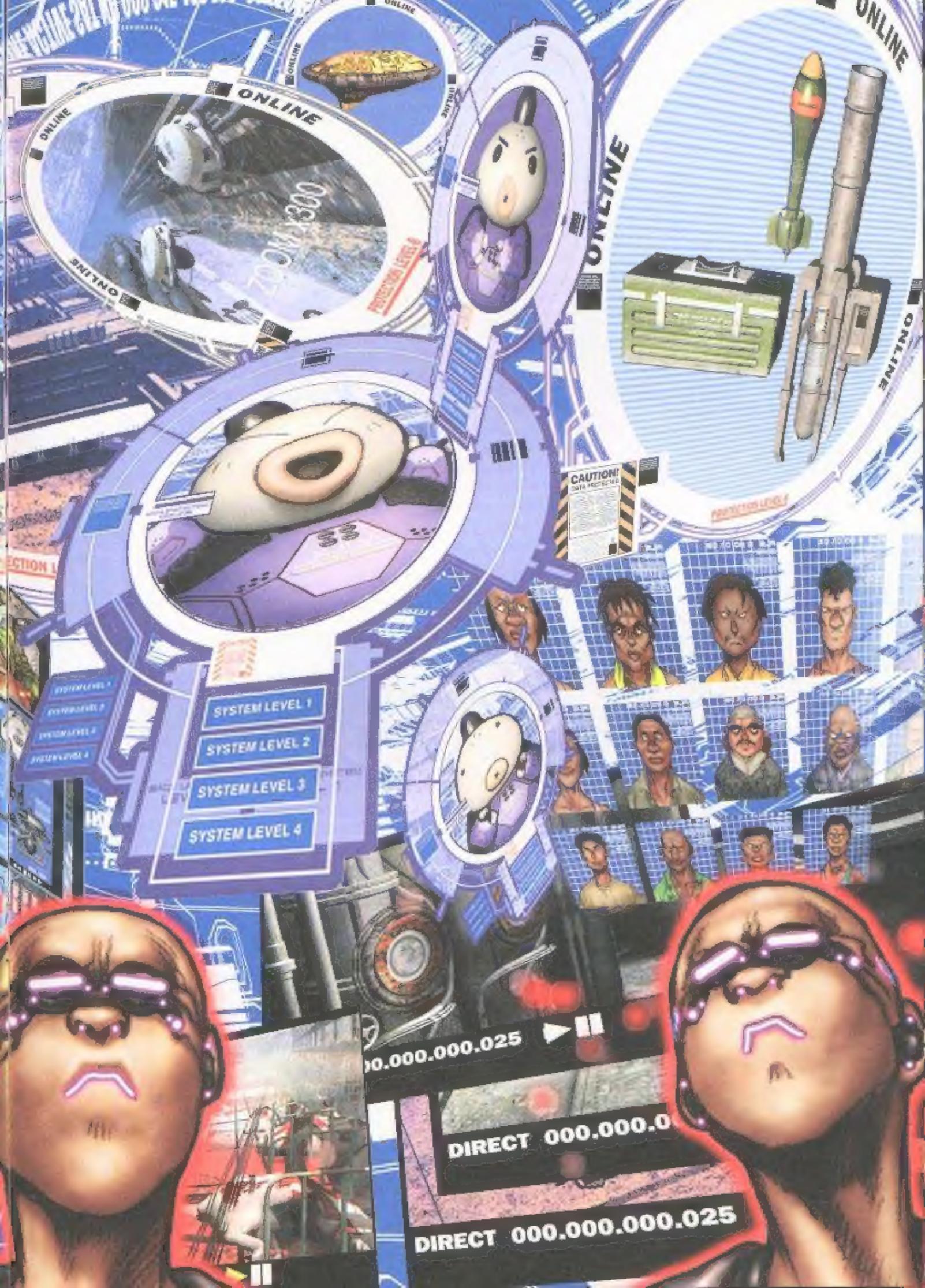


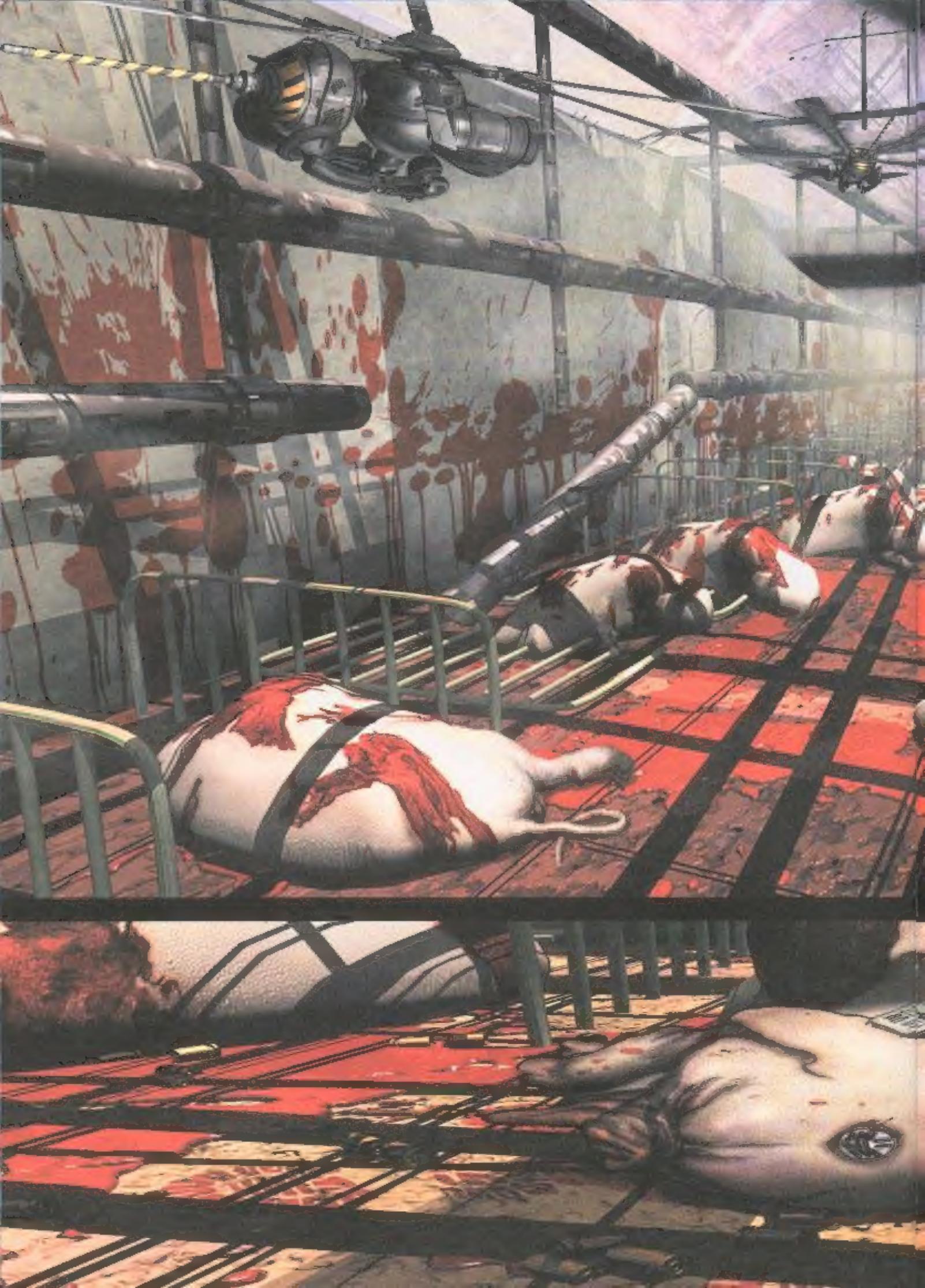


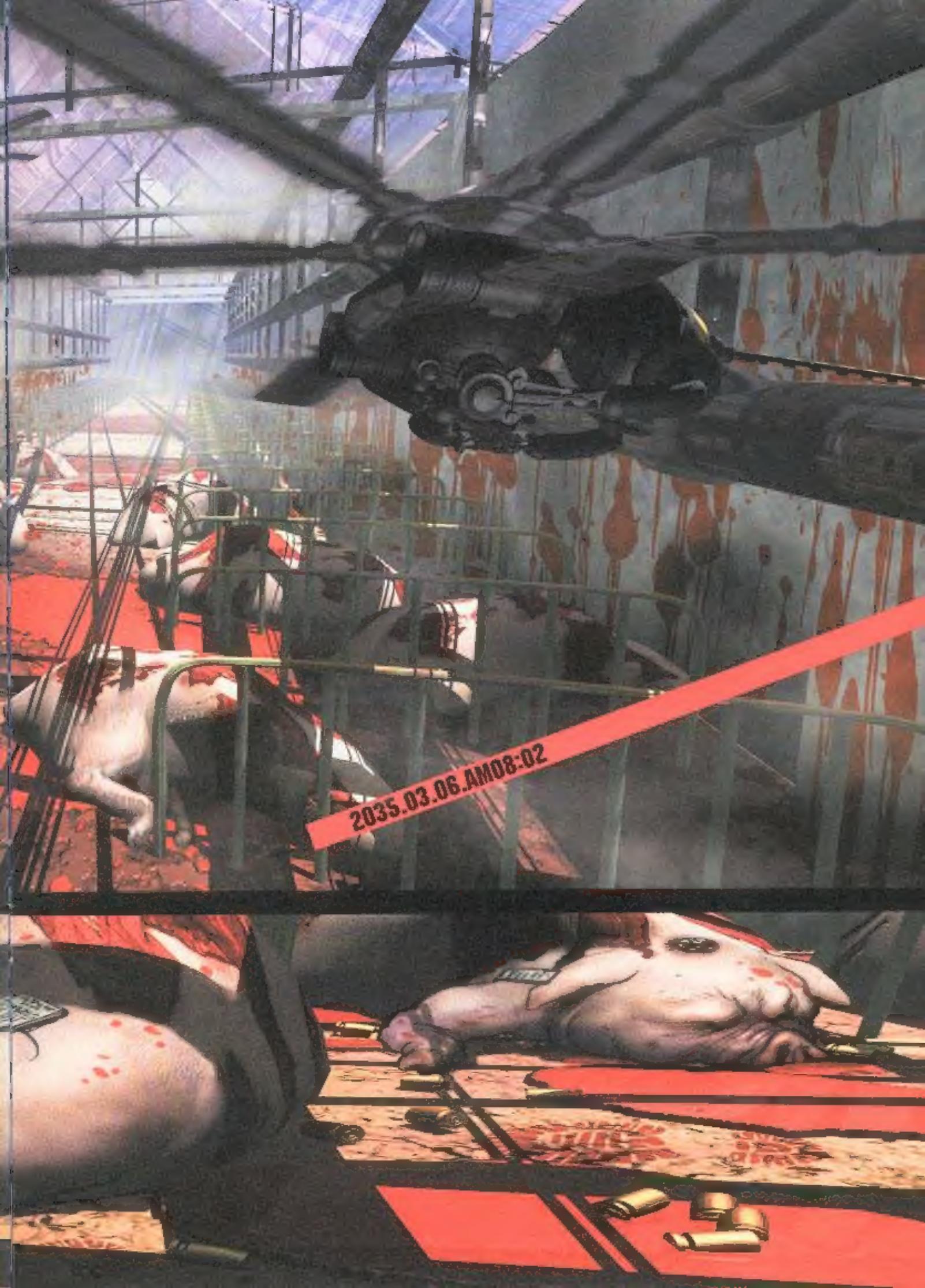
INTERFACE

INTERFACE









2035.03.06.AM08:02

KOUKAKU KIDOUTAI 2  
MANMACHINIF INTERFACE  
created by MASAMUNE SHIROW  
SPECIAL PAMPHLET

This pamphlet is remake of  
"BOOGIE in BOOGIE" appeared in  
YOUNG MAGAZINE 1999.12 & NO.1

DIVE ACTIVE

DRIVE

LEVEL 01

MANMACHINIF INTERFACE

MASAMUNE SHIROW